発効日：2020年5月19日

Certification for Japanese Industrial Standards

日本産業規格適合性認証書

ヤマケイプレコン株式会社　殿

産業標準化法第３０条第１項に基づき、下記のとおり
当該日本産業規格への適合を認証いたします。

記

認　証　番　号：TC0308049

認証取得者の氏名及び名称：ヤマケイプレコン株式会社
住　　所：東京都世田谷区給田 3-2-15

鉱工業品の名称：プレキャスト無筋コンクリート製品
プレキャスト鉄筋コンクリート製品

認証に係るJIS番号：JIS A 5371，JIS A 5372

認　証　の　区　分：Ⅰ類

工場及び事業所の名称：ヤマケイプレコン株式会社　埼玉工場
所　　在　　地：埼玉県加須市志多見 1915 番地

「認証の範囲」、「認証マーク等の表示」、「付記事項の表示」及び「表示の方法」については
日本産業規格適合性認証書附属書による。

認　証　契　約　日：2008年5月19日
有　効　期　限：2023年5月18日

一般財団法人　建材試験センター
Japan Testing Center for Construction Materials
東京都中央区日本橋堀留町二丁目8番4号
理事長　福水健文

Annex to Certification for Japanese Industrial Standards

日本産業規格適合性認証書附属書

(認証番号:TC0308049)

認証の範囲(種類又は等級):

1 プレキャスト無筋コンクリート製品　I 類

製品の種類	製品
舗装・境界ブロック類	平板
	境界ブロック

2 プレキャスト鉄筋コンクリート製品　I 類

製品の種類	製品
路面排水溝類	上ぶた式U形側溝
	L 形側溝

認証マーク等の表示 :

1) 認証マークは、単色とし直径 30mm 以上の大きさで表示する。
2) 認証マーク近傍に、一般財団法人 建材試験センターの略称及び認証番号として、「TC0308049」を表示する。
3) 日本産業規格の種類及び呼びの略号を表示する。

付記事項の表示 : 鉱工業品等には次の事項を表示する。

適合する JIS で定める表示事項

・認証取得者(製造業者)の名称又は略号
・製造年月日又は略号

表示の方法 :

1) 認証マーク等は、1 製品ごとに押印する。
2) 容易に消えない方法による。

一般財団法人 建材試験センター
上級経営管理者

丸山 慶一郎

レディーミクストコンクリート配合報告書

No. 1

ヤマケイプレコン株式会社 埼玉工場
埼玉県加須市志多見 1915

西暦 2021年　1月度

配合の設計条件

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
	普通	27	12±2.0	20	N

空気量	1.5%	コンクリートの塩化物含有量	0.30 kg/m³以下

使用材料

セメント	生産者名	太平洋セメント株式会社	密度(g/cm³)	3.16	Na_2Oeq(%)	0.65
混和材①	製品名	—	種類	—	密度(g/cm³)	—
混和材②	製品名	—	種類	—	密度(g/cm³)	—

骨材	No.	種類	産地又は品名	ASRによる区分		粒の大きさの範囲	粗粒率又は実積率	密度(g/cm³) 表乾	密度(g/cm³) 絶乾	吸水率(%)
細骨材	①	砕砂 A	埼玉県秩父郡皆野町	A	化学法	5mm	2.80	2.64	2.5以上	3.0以下
	②									
	③									
粗骨材	①	砕石2005A	栃木県鹿沼市	A	化学法	20mm	6.60	2.64	2.5以上	3.0以下
	②									
	③									

混和剤①	製品名	チューポール NV-G5	種類	高性能減水剤(Ⅰ種)	細骨材の塩化物量	0.00%
混和剤②	製品名	—	種類	—		
混和剤③	製品名	—	種類	—	水の区分	地下水

配合表(kg/m³)

セメント	混和材①	混和材②	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	粗骨材③	混和剤①	混和剤②	混和剤③
350	—	—	157	767	—	—	1127	—	—	3.85	—	—

水セメント比	45.0%	細骨材率	40.5%

示方配合の計算書

配合強度　$f'cr = f'ck + 3\sigma$　(N/mm²)

標準偏差　$\sigma = 2.0$　(N/mm²)

$= 27.0 + 3 \times 2.0 = 33.0$

$y = -25.772 + 26.809x$

$$W/C = \frac{26.809}{33 + 25.772} \times 100 = 45.6$$

W/Cは、安全側に45.0%とする

細骨材率	S/a=40.5	(%)
単位水量	W=157	(kg/m³)
単位セメント量	C=157/0.45＝350	(kg/m³)
単位細骨材量	S=290×2.64＝767	(kg/m³)
単位粗骨材量	G=427×2.64＝1127	(kg/m³)
混和剤	Ad=350×0.011＝3.85	(kg/m³)

水の絶対容積(W)	= 157
セメントの絶対容積(Vc)	= 350/3.16=111
空気量の絶対容積(VA)	= 15
骨材の絶対容積(Va)	= 1000−(157+111+15)=717
細骨材の絶対容積(Vs)	= 717×0.405=290
粗骨材の絶対容積(Vg)	= 717−290=427

ここで、

C：単位セメント量	(kg/m³)	Vc：セメントの絶対容積	(ℓ/m³)
W：単位水量	(kg/m³)	VA：空気量の絶対容積	(ℓ/m³)
S：単位細骨材量	(kg/m³)	Va：骨材の絶対容積	(ℓ/m³)
G：単位粗骨材量	(kg/m³)	Vs：細骨材の絶対容積	(ℓ/m³)
Ad：単位混和剤量	(kg/m³)	Vg：粗骨材の絶対容積	(ℓ/m³)
W/C：水セメント比	(%)		
S/a：細骨材率	(%)		

備考：

規格区分：

D-03-05

コンクリート中の塩化物含有量測定記録

示方配合 (kg／m³)				
セメント	水	細骨材	粗骨材	混和剤
350	157	767	1127	3.85

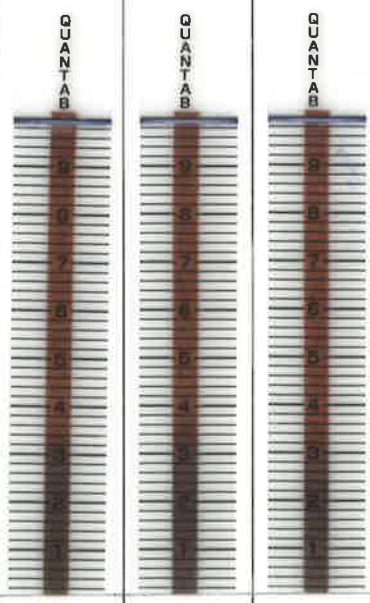
Q C	工場長	課長	係
富	羽生	富	富

工場名	ヤマケイプレコン株式会社 埼玉工場
測定年月日	西暦2021年 1 月 25 日
セメントの種類	普通ポルトランド
水の種類	地下水
細骨材の種類	砕砂 A(5mm)
粗骨材の種類	砕石2005A
混和剤の種類	高性能減水剤 I種

	No.1	No.2	No.3
① カンタブの読み	1.6	1.6	1.6
② 塩素イオン濃度(%)	0.016	0.016	0.016
③ 単位水量 (kg/m³)	157		
④ 塩化物量 (kg/m³)	0.026kg/m³以下		
規格値	0.30 kg／m³ 以下		
合否判定	(合)・否		
測定器名	太平洋マテリアル㈱ カンタブ標準品		

・計算式

$$\text{コンクリート中の塩化物含有量 (kg/m}^3) = \frac{\text{②塩素イオン濃度3本の平均値(\%)}}{100} \times \text{単位水量 (kg/m}^3)$$

	No.1	No.2	No.3
			
読み値0 検出されず	0.016	0.016	0.016

カンタブ 標準品 換算表

Lot No. 628059

コンクリート用

カンタブの読み	塩化物イオン(%)	カンタブの読み	塩化物イオン(%)	カンタブの読み	塩化物イオン(%)
1.6	0.016	3.7	0.076	5.8	0.205
1.7	0.019	3.8	0.081	5.9	0.214
1.8	0.021	3.9	0.086	6.0	0.223
1.9	0.023	4.0	0.092	6.1	0.232
2.0	0.025	4.1	0.097	6.2	0.241
2.1	0.028	4.2	0.102	6.3	0.250
2.2	0.030	4.3	0.107	6.4	0.259
2.3	0.033	4.4	0.112	6.5	0.268
2.4	0.036	4.5	0.118	6.6	0.277
2.5	0.039	4.6	0.123	6.7	0.286
2.6	0.042	4.7	0.128	6.8	0.295
2.7	0.044	4.8	0.133	6.9	0.304
2.8	0.047	4.9	0.139	7.0	0.314
2.9	0.050	5.0	0.144	7.1	0.337
3.0	0.053	5.1	0.149	7.2	0.361
3.1	0.056	5.2	0.154	7.3	0.384
3.2	0.059	5.3	0.160	7.4	0.408
3.3	0.062	5.4	0.169	7.5	0.432
3.4	0.065	5.5	0.178	7.6	0.455
3.5	0.068	5.6	0.187	7.7	0.526
3.6	0.071	5.7	0.196	7.8	0.597

太平洋マテリアル株式会社

セメント試験成績表

№ 303316

太平洋セメント株式会社

2021年(令和3年) 1月度

品質 ＼ 種類		普通ポルトランドセメント JIS R 5210				早強ポルトランドセメント JIS R 5210				高炉セメントB種 JIS R 5211			
		JIS 規格値	試験成績 平均値	試験成績 標準偏差	試験成績 最大値(最小値)	JIS 規格値	試験成績 平均値	試験成績 標準偏差	試験成績 最大値(最小値)	JIS 規格値	試験成績 平均値	試験成績 標準偏差	試験成績 最大値(最小値)
密度	g/cm³	—	3.16	—	—	—	3.14	—	—	—	3.04	—	—
比表面積	cm²/g	2500以上	3270	84	—	3300以上	4510	90	—	3000以上	3850	78	—
凝結	水量 %	—	27.2	—	—	—	30.5	—	—	—	28.8	—	—
	始発 h-min	60min以上	2-19	—	(1-50)	45min以上	1-51	—	(1-35)	60min以上	3-28	—	(2-40)
	終結 h-min	10h 以下	3-28	—	4-00	10h 以下	2-50	—	3-10	10h 以下	4-48	—	5-15
安定性	パット法	良	良	—	—	良	良	—	—	良	良	—	—
圧縮強さ N/mm²	1 d	—	—	—	—	10.0 以上	25.4	1.68	—	—	—	—	—
	3 d	12.5 以上	30.5	1.63	—	20.0 以上	48.5	1.75	—	10.0 以上	22.3	1.27	—
	7 d	22.5 以上	47.0	1.75	—	32.5 以上	60.5	1.84	—	17.5 以上	37.7	1.72	—
	28 d	42.5 以上	63.6	1.81	—	47.5 以上	69.6	1.99	—	42.5 以上	61.1	1.90	—
水和熱 J/g	7 d	—	331	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	28 d	—	392	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
化学成分 %	酸化マグネシウム	5.0 以下	1.44	—	2.46	5.0 以下	1.50	—	2.27	6.0 以下	3.31	—	3.81
	三酸化硫黄	3.5 以下	2.03	—	2.30	3.5 以下	2.94	—	3.13	4.0 以下	2.12	—	2.66
	強熱減量	5.0 以下	2.03	—	2.68	5.0 以下	0.90	—	1.08	5.0 以下	1.57	—	1.90
	全アルカリ	0.75 以下	0.53	—	0.65	0.75 以下	0.48	—	0.51	—	—	—	—
	塩化物イオン	0.035以下	0.022	—	0.026	0.02 以下	0.008	—	0.012	—	0.012	—	—

備考

試験方法は JIS R 5201、JIS R 5202、JIS R 5203 及び JIS R 5204 による。
28d 圧縮強さ及び 28d 水和熱は前月度の値を示す。

全アルカリの最大値のうち直近6ヶ月の最大の値

普通ポルトランドセメント	0.65 %
早強ポルトランドセメント	0.54 %

高炉セメントB種

ベースセメントの全アルカリ	0.53 %
高炉スラグの分量	40～45 %

お問い合わせその他のご連絡先

太平洋セメント株式会社 東京支店 技術部

〒112-8503 東京都文京区小石川1-1-1
文京ガーデン ゲートタワー 19F
☎ 03-5801-0434

工場長	Q C	担当者
羽生	富	富

合

２０２１年　１月～２０２１年　６月度　コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

〒 347-0042　　(41300)

埼玉県加須市志多見１９１５

ヤマケイプレコン㈱

御中

種　類　高性能減水剤（Ⅰ種）

商品名　チューポールＮＶ－Ｇ

〒443-8611 愛知県蒲郡市港町２番５号
竹本油脂株式会社
☎（０５３３）６８－２１１８

1．コンクリートの試験結果

項目			JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験値
フレッシュコンクリート	減水率 %		１２以上	１３	１３
	ブリーディング量の比 %		－	－	―
	ブリーディング量の差 cm³/cm²		－	－	―
	凝結時間の差分	始発	＋９０以下	－１０	±０
		終結	＋９０以下	±０	－１０
	経時変化量	スランプ cm	－	－	－
		空気量 %	－	－	－
硬化コンクリート	圧縮強度比 %	材齢１日	－	－	－
		材齢2日(5℃)	－	－	―
		材齢７日	１１５以上	１２７	１２６
		材齢28日	１１０以上	１２１	１２０
	長さ変化比 %		１１０以下	９８	―
	凍結融解に対する抵抗性（相対動弾性係数 %）		－	－	―

注記１　１㎥当たりの化学混和剤の使用量　　形式評価試験　2.45 kg/㎥,　性能確認試験　2.45 kg/㎥

注記２　性能確認試験は６か月ごとに１回実施し，この表に表示している試験値は，2020 年 10 月の試験結果である。

ただし,圧縮強度の性能確認試験は1年に1回実施し,この表に表示している試験値は，2020 年 11 月の試験結果である。

注記３　この表に表示している形式評価試験は，2020 年 10 月に 竹本油脂株式会社 で実施した試験結果である。

2．塩化物イオン（Cl⁻）量及び全アルカリ量

項目	JIS A6204による規定値	形式評価試験値	性能確認試験		
			化学混和剤中の含有量	1㎥当たりの化学混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン(Cl⁻)量	0.02 kg/㎥以下	0.00 kg/㎥	0.00 %	2.45 kg/㎥	0.00 kg/㎥
全アルカリ量	0.30 kg/㎥以下	0.03 kg/㎥	1.4 %	2.45 kg/㎥	0.03 kg/㎥

注記１　性能確認試験は６か月ごとに１回実施し，この表に表示している試験値は，2020 年 10 月の試験結果である。

注記２　この表に表示している形式評価試験は，2020 年 10 月に 竹本油脂株式会社 で実施した試験結果である。

3．チューポールＮＶ－Ｇ５の品質

化学混和剤中の含有量		密度（g/㎤，20℃）	
塩化物イオン(Cl⁻)量	全アルカリ量	規格値	試験値
0.00 %	1.4 %	1.03 ～1.11	1.072

注　記　この表に表示している試験値は，2020 年 10 月の試験結果である。

工場長	ＱＣ	担当者
羽生	富	富

合

コンクリート用砕砂試験成績書

２０２１ 年 １ 月

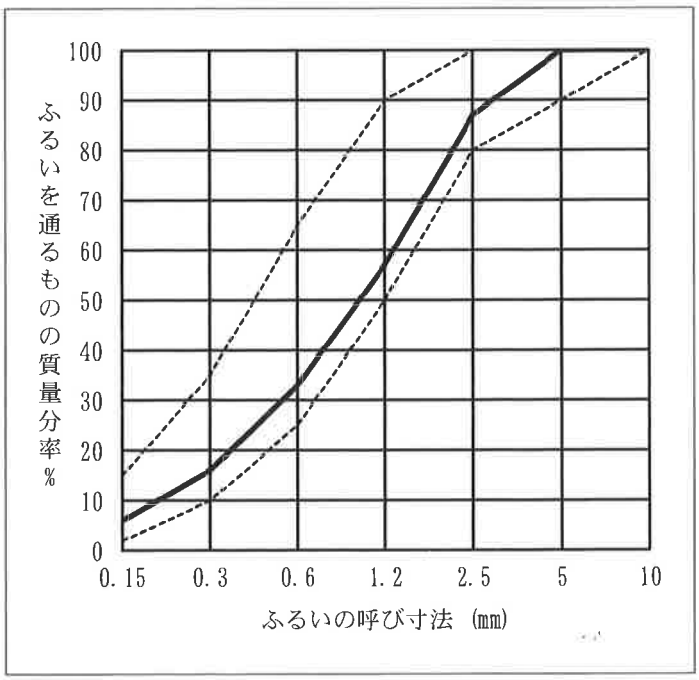
No.202903034
日本産業規格認証取得工場
認証番号　ＴＣ０３０７２１６
有恒鉱業株式会社　金沢鉱業所

種類（呼び方）	コンクリート用砕砂 A	発行日	2020年 12月 29日	
		採取地名・地番	埼玉県秩父郡皆野町大字金沢 2805番地	
製造会社名	有恒鉱業株式会社	物理試験	試料採取日：2020年 12月21日	
工場名	金沢鉱業所		試験実施日：2020年 12月21日～23日	
原石の種類	硬質砂岩	アルカリシリカ反応性試験	試料採取日：2020年 10月 5日	
			試験実施日：2020年 10月 7日～13日	
試験項目	（物理試験）	JIS規格値	試験値	備考
絶乾密度	（JIS A 1109）	2.5 g/cm³以上	2.61 g/cm³	・表乾密度（2.64g/cm³）
吸水率	（JIS A 1109）	3.0% 以下	1.32 %	
安定性	（JIS A 1122）	10 % 以下	1.6 %	・協議により定めた微粒分量（3.0 %）
微粒分量	（JIS A 1103）	9.0% 以下	2.8 %	
実積率	（JIS A 1104）	—	65.1 %	・微粒分量の許容差は、協議により定めた値に対して±2.0 %
単位容積質量	（JIS A 1104）	—	1.70 kg/L	
粒形判定実積率	（JIS A 5005）	54 % 以上	55.0 %	

ふるい分け試験（JIS A 1102）

呼び寸法	通過率	隣接の差*
10	100	0
5	100	0
2.5	87	13
1.2	57	30
0.6	33	24
0.3	16	17
0.15	6	10
粗粒率：3.01		
協議により定めた粗粒率：2.90		

*隣接するふるいについて、呼び寸法の大きいふるいから呼び寸法の小さいふるいの“各ふるいを通るものの質量分率”を差し引いた値を示す。
最大値は 45%未満。



アルカリシリカ反応性試験（JIS A 1145）	試験結果 *	A
	試験方法	化学法

＊ A ：無害と判定　　B ：無害でないと判定、又は試験を行っていない。

試験機関名	物理試験 ： 有恒鉱業株式会社
	アルカリシリカ反応性試験 ： 株式会社 太平洋コンサルタント

原本からの転記者	担当部署 ：金沢鉱業所	担当者名 ： 杉 山 貴 志

工場長	ＱＣ	担当者
羽生	富	富

合

ヤマケイプレコン株式会社　　様

試　験　成　績　書

JIS認証番号: TC 03 06 089
認証機関：一般財団法人 建材試験センター
発行日：2021年1月27日

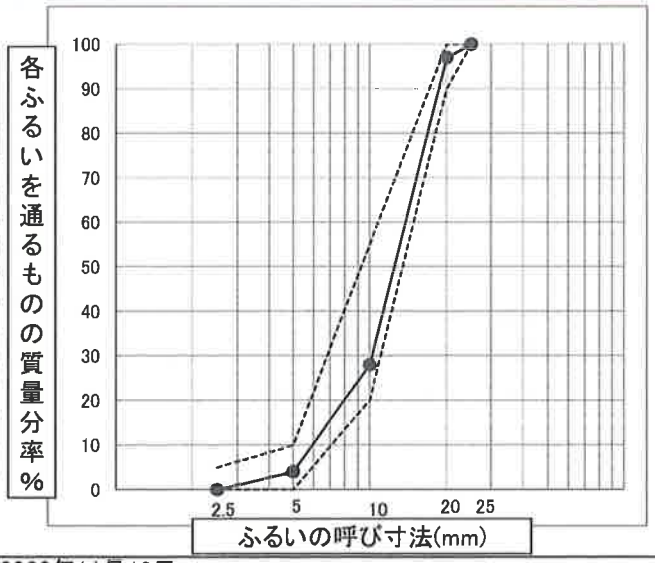
2021年1月度　コンクリート用砕石試験成績書

種類	コンクリート用砕石 2005 A	原石の種類	硬質砂岩		
製造会社名	株式会社 オーリス	製造工場名	栃木砕石工場	ラインの名称	Aライン
原石採取地	栃木県鹿沼市下粕尾				
試験試料採取地	栃木県鹿沼市下粕尾				
試験試料採取日	2021年1月 5日				
物理試験期間	2021年 1月 6日 ～ 2021年1月13日				

試験項目	(物理試験)	規格値	試験値	備考
絶乾密度	(JIS A 1110)	2.5g/cm³以上	2.60	・表乾密度 (2.63)
吸水率	(JIS A 1110)	3.0%以下	1.09	・協議により定めた微粒分量
※ 安定性	(JIS A 1122)	12%以下	1.6	(0.5%)
すりへり	(JIS A 1121)	40%以下	10.5	・ふるい分け試験の試料の種別
微粒分量	(JIS A 1103)	3.0%以下	0.6	(0.075mm以上)
粒形判定実積率	(JIS A 5005)	56%以上	58.5	試料の種類 砕石2005

ふるいわけ(JIS A 1102)

ふるいの呼び寸法 (mm)		各ふるいを通るものの質量分率 (%) 試験値	粒度範囲
ふるい分け試験結果	25	100	100
	20	97	100～90
	10	28	55～20
	5	4	10～0
	2.5	0	5～0
粗粒率		試験値 6.71	規格範囲 6.90～6.30



※アルカリシリカ反応性	発行日	2020年11月13日
	試験結果	A　備考:アルカリシリカ反応性試験は6ヶ月に1回以上
	試験方法	JIS A 1145又は1146「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法」による。
	A、無害と判定　B、無害でないと判定、又は試験を行っていない。	
※安定性	発行日	2020年10月23日

試験機関名	※印以外の物理試験	株式会社 オーリス　栃木砕石工場
	※アルカリシリカ反応性 ※安定性	一般財団法人 建材試験センター
成績書作成者	担当部署：	株式会社 オーリス　栃木砕石工場
	担当者名：	峰島孝之 印

工場長	QC	担当者
羽生	富	富

合

当工場におけるアルカリ骨材反応抑制対策の実施報告

ヤマケイプレコン株式会社

埼玉工場

国土交通省は通達により、コンクリート工場製品はアルカリ骨材反応を抑制するため、次の３つの対策の中のいずれか１つについて確認をとらなければならない。

としております。

1、コンクリート中のアルカリ総量の抑制

試験成績表に示されたセメントの全アルカリ量の最大値のうち、直近６ヵ月の最大の値(Na_2O 換算値%)/100×単位セメント量(kg/㎥)＋0.53×(骨材中の NaCl%)/100×該当単位骨材量(kg/㎥)＋混和剤中のアルカリ量(kg/㎥)が 3.0kg/㎥以下であることを計算で確かめるものとする。

2、抑制効果のある混合セメント等の使用

高炉セメント B 種(スラグ混合比 40%以上)、または C 種、もしくは、フライアッシュセメント B 種(フライアッシュ混合比 15%以上)、または C 種であることを試験成績表で確認する。

また、混和材をポルトランドセメントに混入して対策をする場合には、試験等によって抑制効果を確認する。

3、安全と認められる骨材の使用

骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法もしくは、モルタルバー法)により骨材が無害であることを確認する。

当工場では、「1、コンクリート中のアルカリ総量の抑制」によって、アルカリ骨材反応抑制対策をおこなっております。(計算と計算結果は別紙「アルカリ総量の計算表」に記載)

また、骨材業者が実施する骨材のアルカリシリカ反応性試験の試験成績表により、無害であることも確認しております。

西暦 2021年　1月度

QC	工場長	課長	係
富	羽生	富	富

アルカリ総量の計算表

呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スランプ又はスランプフロー cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号
	普　通	27	12.0±2.0	20	N

指定事項				
セメントの種類	呼び方欄に記載	空気量	―
骨材の種類	使用材料欄に記載	軽量コンクリートの単位容積質量	―
粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載	コンクリートの温度	―
アルカリシリカ反応抑制対策の方法	A	水セメント比の上限値	―
骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載	単位水量の上限値	―
水の区分	使用材料欄に記載	単位セメント量の下限値又は上限値	―
混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載	流動化後のスランプ増大量	―
塩化物含有量	0．30kg／m³以下		
呼び強度を保証する材齢	―		

使用材料						比率 %	NaCl %	Na2Oeq %
セメント	生産者名	太平洋セメント株式会社						0.65
混和材	①	製品名		種類				
	②							
細骨材	①	種類	砕砂A	産地又は品名	埼玉県秩父郡皆野町		0	
	②							
粗骨材	①		2005A		栃木県鹿沼市		0	
	②							
混和剤	①	製品名	竹本油脂㈱ チューボールNV-G5	種類	高性能減水剤（Ⅰ種）			1.4
	②							
水の区分		地下水						

配合表　kg／m³

セメント	混和材①	混和材②	水	細骨材①	細骨材②	細骨材③	粗骨材①	粗骨材②	混和剤①	混和剤②
350			157	767			1127		3.85	

水セメント比	45.00%	水結合材比	―	細骨材率	40.50%

アルカリ総量の計算		判定基準	計算及び判定
コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量　(kg/m³)　Rc Rc=（単位セメント量kg/m³）×（セメント中の全アルカリ量Na2Oeq:%/100） Rc=　350　×　0.65　/　100	①=Rc	―	2.275
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量　(kg/m³)　Ra Ra=（単位混和材料kg/m³）×（混和材中の全アルカリ量:%/100） Ra=	②=Ra	―	0.000
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量　(kg/m³)　Rs Rs=（単位骨材量kg/m³）×0.53×（骨材中のNaCl:%/100） Rs=（766＋1127）　×　0.53　×　0　／　100	③=Rs	―	0.000
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量　(kg/m³)　Rm Rm=（単位混和剤量kg/m³）×（混和剤中の全アルカリ量:%/100） Rm=　3.85　×　1.4　/　100	④=Rm	―	0.054
流動化剤を添加する場合は、コンクリート中の流動化剤に含まれる全アルカリ量（kg/m³）Rp Rp=（単位流動化剤量kg/m³）×（流動化剤中の全アルカリ量:%/100） Rp=	⑤=Rp	―	―
コンクリート中のアルカリ総量　(kg/m³)　Rt Rt=①＋②＋③＋④＋⑤ Rt=　2.275　＋　0　＋　0　＋　0.054	⑤=Rt	3.0kg/m³以下	2.33 合格

ヤマケイプレコン株式会社

ヤマケイプレコン株式会社　御 中

報告番号【 J-20169S(1)㉞ 】
受付日：　2020年10月6日

試 験 報 告 書

2020年10月19日

株式会社太平洋コンサルタント
千葉県佐倉市大作2-4-2
TEL.043(498)3912
FAX.043(498)3919

本試験報告書は、依頼者より提出された試料に対する試験結果である。

試験名称	骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法）✓
顧客の名称 及び住所・電話	有恒鉱業株式会社　金沢鉱業所 ✓ 〒369-1601　埼玉県秩父郡皆野町金沢2805 TEL. 0494-62-0161
試験項目	骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法）✓
試　　料 （内容・状態）	コンクリート用砕石2005（硬質砂岩）✓ 【産地：埼玉県秩父郡皆野町金沢2805】
試験方法 （ｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ方法、試験条件・他）	サンプリング方法：依頼者による採取 採 取 者：小河　和真 採 取 日：2020年10月5日 採取場所：金沢鉱業所 試験方法：JIS A 1145:2017『骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）』 ただし、溶解シリカ量(Sc)は、a)質量法による。

試料外観写真

試験結果

試験項目：骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法）

測定値(mmol/L)				判定結果
溶解シリカ量(Sc)		アルカリ濃度減少量(Rc)		
11	12	25	25	無　害 ✓
12		25		
12		25		

判定基準

骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし、次による。

a)　溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を“無害”と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を“無害でない”と判定する。

b)　溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満で、アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を“無害”と判定する。

c)　アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない。

備　　考	—
試験期間	2020年10月7日　～　2020年10月13日
試験責任者	役職　：分析技術部　品質化学グループリーダー 承認署名者：上田　貴行　印
試験実施場所	株式会社 太平洋コンサルタント 千葉県佐倉市大作2-4-2 TEL.043(498)3886　FAX.043(498)3887

文書による弊社の承認なしでは、完全な複製を除き、
一部分のみを複製してはならない。

工場長	Ｑ Ｃ	担当者
羽生	倉	倉

発行番号：第２０Ａ２３９４号
発 行 日：２０２０年１１月１３日

Accredited Testing
JNLA Z80111JP

工場長 | Ｑ Ｃ | 担当者

試 験 報 告 書

一般財団法人　建材試験センター
中央試験所長　真　野　孝　次
埼玉県草加市稲荷５丁目21番20号

試験名称	骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法）✓
依頼者	名　　称：株式会社　オーリス　栃木砕石工場✓ 所 在 地：栃木県鹿沼市下粕尾 1750
試験項目	溶解シリカ量，アルカリ濃度減少量 ✓
試料	種　　類 1)：コンクリート用砕石2005（硬質砂岩）✓ 産　　地 1)：栃木県鹿沼市下粕尾1750 採取場所 1)：株式会社　オーリス　栃木砕石工場 採 取 日 1)：2020年10月 9日 搬 入 日　：2020年10月12日 数　　量　：約40kg 外観写真： 注 1) 依頼者提出資料による。
試験方法	JIS A 1145［骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)］に従って行った。 なお，溶解シリカ量の定量方法は，質量法で行った。

試験結果

試験項目	1	2	3	平　均
溶解シリカ量 Sc (mmol/L)	33	33	33	33
アルカリ濃度減少量 Rc (mmol/L)	59	54	56	56
判　　定	無　　害✓			

試験期間	２０２０年１０月１９日 ～ ２１日
担当者	材料グループ　統括リーダー　藤　巻　敏　之 統括リーダー代理　中　村　則　清 佐　藤　麗　嘉　（主担当）
試験場所	中　央　試　験　所　（埼玉県草加市稲荷５丁目21番20号）

本試験の結果は，提出された試料（試験体）のみに関するものである。
試験所長の文書による承認なしでは，完全な複製を除き，一部分のみを複製してはならない。

以上